

《挟まれ・墜落・転落 足元滑らせ転倒注意》

- 足元は、凍って危険です
- 「飛び降りる」ことは、厳禁
- 荷台、運転席から降りる時は、「足元」の確認

《駐車場から出る時は》

駐車場などの敷地から歩道を横断して車道に出る際は、歩道の手前で一旦停止し、歩道上の歩行者などの発見に努め歩行者・自転車の動きに注意し、安全確認を徹底してから車道に出ましょう

- ※ 歩行者は、車が止まってくれたと思い車両の前方に入ってくる場合があります

《交差点付近、雪山が高くなり、見通しが悪くなっています》

《信号待ち、発進時の追突事故に注意しましょう》

ダンプの荷台と車体の間に挟まれ

50代の男性死亡

ダンプの荷台を上げて整備をしていた

2/20(月)17:14

20日午前7時ごろ、札幌市内の排雪を請け負っていた会社の社長が、ダンプの荷台と車体の間に挟まっている男性(50代)を発見して警察に通報しました。男性はその場で死亡が確認されました。警察によりますと、男性が19日午後9時からの作業に参加しなかったため、20日朝に社長が会社の敷地内を確認したところ、荷台と車体の間に挟まっている男性を発見したということです。男性はダンプカーの荷台を上げて整備をしていましたが、荷台のストッパーのレバーを引いていなかったため、荷台が下りてきて挟まったとみられます。

凍結路面 スリップ はみ出し

路線バスと大型ダンプと正面衝突

路線バスの乗客1人がけが

◇アイスバーン スピードダウンと車間距離◇

◇アイスバーンなどの凍結路面では◇

◇急ブレーキ、急ハンドルは禁物！ 慌てず焦らず走行しましょう◇

2023/2/20(月) 19:51

20日午後2時ごろ、青森県で路線バスと対向してきた大型ダンプが正面衝突しました。この事故で双方の車を運転していた男性にけがはありませんでしたが、路線バスに乗っていた80代の女性1人が胸を打つ軽いけがで病院に運ばれました。警察によりますと現場は片側1車線の、見通しの良い道路でしたが、事故当時、道路は凍結していたということです。警察は、路線バスがスリップして対向車線にはみ出した可能性があるとして捜査中

道路を横断していた交通誘導員の男性

軽乗用車にはねられ

意識不明の重体

◇デイ・ライトで知らせよう・・・自分の車の存在 事故防止◇

◇気のゆるみ 事故は一瞬 命はひとつ◇

◇「ぼーっと運転」、漫然運転は死亡事故リスクが高い！◇

◇ながら(スマホ)運転、ナビを見ながら運転、わき見運転、重大事故◇

2023/2/20(月) 20:28

20日午前9時前、秋田県の県道で、軽乗用車が道路を左から横断してきた男性(55)をはねた。男性は病院に搬送されたが、意識不明の重体となっている。軽乗用車を運転していた女性(72)と助手席に乗っていた男性(77)にけがはなかった。はねられた男性は、現場近くのトンネルの照明を替える工事の交通誘導員で、誘導作業に入る前に道路を横断していたところ車にはねられたという。警察は、軽乗用車の運転手や工事関係者から話を聞くなどして、事故の詳しい原因を調べている。